

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22032	事業名	総合環境センター最終処分場保管固化飛灰搬出処理事業		評価分類	A1			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署			
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計				
	基本施策	08:脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進と循環型社会の構築			款	04:衛生費				
	施策の方向	04:廃棄物処理施設の適正管理			項	02:清掃費				
重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト		目		02:塵芥処理費					
事業期間	R 4 年度 ~ R 8 年度		主な根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	災害時は災害廃棄物が大量に発生し、この処理に伴い大量に溶融飛灰が発生することが予測される。災害廃棄物を迅速かつ円滑に処理し早期復旧・復興するためには、溶融飛灰を仮保管する総合環境センター最終処分場の残余容量を確保する必要がある。	市民、事業者	総合環境センター最終処分場保管の固化飛灰を搬出し、残余容量を確保することで、災害廃棄物処理に伴い大量に発生することが予測される溶融飛灰の仮保管場所を平時から確保する。	総合環境センター最終処分場保管の固化飛灰を搬出し、民間廃棄物処理施設において埋立処理を行う。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○固化飛灰搬出 ○固化飛灰処理	○固化飛灰搬出 ○固化飛灰処理	○固化飛灰搬出 ○固化飛灰処理	○固化飛灰搬出 ○固化飛灰処理	
	活動実績 (計画通り実施できたか)	総合環境センター最終処分場に保管している固化飛灰を搬出し処理した。 ○固化飛灰搬出、処理量:209.7トン ○残余容量:833m ³ (200m ³ の増)				
計画額	事業費	12,800千円	12,800千円	12,800千円	12,800千円	
		国・県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源	12,800千円	12,800千円	12,800千円	12,800千円	
決算額	事業費	12,399千円				
		国・県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	12,399千円					
①期間内事業費(R4-7)		51,200千円	②期間外事業費(R8-)	12,800千円	①+②総事業費	64,000千円

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	12,800千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	固化飛灰処理量	活動	m ³	計画値	200	200	200	200
				実績値	200			
固化飛灰処理率	累積処理量/全体計画処理量(1,000m ³ /5年)	成果	%	計画値	20	40	60	80
				実績値	20			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	最終処分場に保管されている固化飛灰を搬出、処理を行い、災害廃棄物処理に伴い発生する溶融飛灰の仮保管場所として、最終処分場の残余容量の拡大が図られた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民、事業者	総合環境センター最終処分場保管の固化飛灰を搬出し、残余容量を確保することで、災害廃棄物処理に伴い大量に発生することが予測される溶融飛灰の仮保管場所を平時から確保する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	計画どおりに本事業実施を実施することができた。今後も着実に本事業を実施する。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性			
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する			
	改善・見直し内容			
	<table border="1"> <tr> <th>令和5年度で対応する(した)もの</th> <th>令和6年度以降で対応するもの</th> </tr> <tr> <td>前年度に引き続き、固化飛灰を搬出、処理し、最終処分場での仮保管スペースの拡大を図る。</td> <td>左欄に同じ</td> </tr> </table>	令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの	前年度に引き続き、固化飛灰を搬出、処理し、最終処分場での仮保管スペースの拡大を図る。
令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの			
前年度に引き続き、固化飛灰を搬出、処理し、最終処分場での仮保管スペースの拡大を図る。	左欄に同じ			

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	継続(現状維持)			

【履歴】

1次評価者	産業環境部 環境課 廃棄物対策GL 葛西 裕二
最終評価者	産業環境部 環境課長 村田 博